



連合駿台会報

No.354 令和3年10月15日発行
発行・編集 連合駿台会

発行人 広報委員長・齋藤柳光
編集人 事務局・矢嶋まゆ子
〒101-0052 千代田区神田小川町三十二
明治大学「紫紺館」内
電話 (〇三) 三二九六―四七四七
印刷 有限会社 美 創

第六十七回連合駿台会総会を開催

第六十七回連合駿台会の通常総会が、令和三年六月二十四日、ホテルグランドパレス「ダイヤモンドルーム」で開催されました。

開会に先立ち、田村会長から次のような挨拶がありました。

本日は、ご多忙の中、大勢の方に総会ご出席いただき誠にありがとうございました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大変な一年でした。当会も年初予定してありました事業計画を大幅に変更せざるを得なくなり、皆様のご期待にお答えできず、事務局として大変申し訳なく思っております。

今年に入りまして、変異ウイルスが拡大傾向にあり、六月二十日には緊急事態宣言が解除されましたが、今はまん延防止等重点措置が適用されております。この様な状況下におきまして、皆様はもうワクチンを一度、あるいは二度、打たれましたでしょうか？ これからどんどん接種が進むかと思いますが、

是非、早い時期に積極的に接種していただきたいと思います。

さて、今年の決算の特徴は、新型コロナウイルス拡大の影響で、各種イベントが中止となり、皆様の会費を事業計画通りに消化することができませんでした。今年、母校明治大学は、創立一四〇周年を迎えますので、この未消化の皆様方の浄財を活用させていただき、連合駿台会として一三〇周年の時と同額の一〇〇〇万円を大学に寄付したいと考えております。詳細につきましては、後ほど総会の議事でお諮りしたいと思います。

また、当会河村副会長が社長をされておりますここホテルグランドパレスは、誠に残念ですが六月末をもって営業を中止されます。当会としてはいろいろご無理を聞いていただき、皆様にとりましても大変馴染み深い会場でありましたが、本日の総会が最後となります。河村社長をはじめホテルスタッフの皆様には大変お世話になり、高い席からではありますが、この場を借りて会員を代表して、心

よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

それでは、本日の総会、議事の内容につきましては、十二分にかつ厳正なご審議をいただき、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。本日はお忙しいなか、総会にご参加いただき誠にありがとうございました。

＊

田村駿会長は開会を宣言し、規約の第五章・第十三条に従い、会長が議長となり、議案の審議が進行されました。なお、第一号議案・第二号議案は関連性の高いもので、両議案の説明後に一括して質問を受け、その後決議に入りたいとの提案が議長からあり、異議なく承認され、審議に入りました。

○第一号議案

令和二年度事業報告書、収支計算書、貸借対照表・財産目録の報告、ならびに監事による監査報告承認の件

▽令和二年度の事業報告については、当山明彦専務理事から報告があった。

- ① 総会：第六十六回通常総会（七月二十二日）。
- ② 例会：十一月例会（十一月十八日）、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い九・一月例会は中止、三月例会は令和三年四月二十八日に延期。
- ③ 理事會：一回。
- ④ その他（秋期ゴルフ会

(十一月五日)を除き、正・副会長会、特別行事等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴いすべて中止、運営委員会：四回、各委員会)。④会報発行：三回、⑤ 会員状況：会員数は、新入会員は十四名、退会会員は二十六名になったため、年度末の会員数は十二名減少して三百六十五名となったが、コロナ禍の現状下では仕方ない結果だと思ふとの説明があった。

▽令和元年度の収支計算書・貸借対照表・財産目録については、吉田光一郎財務委員長より以下の報告・説明があった。

・「収支計算書」については、「収入の部」では、当期収入総額は1668万5121円(予算額1741万円・対予算比九五・八%)。内訳では年会費収入が1482万2000円(予算額1460万円・対予算比一〇一・五%)で、コロナ禍の現状では、予想以上の結果だった。例会費収入が83万円(予算額200万円・対予算比四一・五%)だったことは、総会は懇親会なしのため会費無料、例会は一回しか開催されなかったことによる。ただし広告費収入は103万円(予算額80万円・対予算比一二八・八%)で、ここ数年間でも最高額で100万円超になったことは、会員の皆さまのご協力に深く感謝する。

・「支出の部」では、総務費関係は全体で645万4978円(予算額540万円・対予算比一一九・五%)となっており、家賃共益費・人件費は予算内だったが、備品消耗品費と印刷費が予算よりかなりオーバーしている。主な超過要因としては、パソコンおよび付属品を購入したこと(備品消耗品費)、従来、総務・事業委員会費として予算計上されていた名簿代の製作費分を、用途を明確にするために総務費の「印刷費」に変更したことによる。事業費の各委員会運営費では、一番大きな予算を組んだ総務・事業委員会費が、例会および様々な事業が中止になったため、200万7904円(予算額680万円・対予算比・二九・五%)で大幅に予算を下回ったのをはじめ、すべての委員会が予算未達で、五委員会の総額では464万2804円、予算額1161万円に対する対予算比は四〇・〇%、700万円弱の黒字だった。その他慶弔費も合わせ、当期支出合計は1111万7782円(予算額1721万円・対予算比六四・六%)となり、これを受けて次期繰越収支差額は4342万3796円となった。

・「貸借対照表」では、借方「資産の部」の小口現金、みずほ銀行・普通預金、ゆうちょ銀行・普通預金、みずほ銀行・定期預

金、大和証券・MMF、電話加入権、未収入金(四月になってから入金された名刺広告費)を合わせて6227万3956円。貸方「負債・正味財産の部」では、流動資産(負債)はほとんどなく、源泉預り金、四月に実施した特別例会の会費で三月中に入金された34万円を「前受金」、明大広報に掲載した大学支援広告費分が、コロナ禍の影響などで四月に入ってから支払ったため、この分50万円を「未払金」とした。結果、正味財産6142万3796円(有志寄付金+先の項で説明した時期繰越収支差額)と合わせて資産合計と一致している。このように収支差額のほとんどが現金・預金であるという、極めて健全な財務体質になっている。

▽監査報告(小山修監事)

これらについて、規約第六章・第十八条の規定に基づき、令和三年六月十八日付けで小山修監事・渡邊建三監事が監査をした結果、会務の執行は当会の規約に従い、総会並びに理事会の決議に基づき誠実に行われており、一般会計はいずれも適正に処理されており、計算書類は本会の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認められた。

○第二号議案

各委員会令和二年度事業報告および令和三

(3)

年度事業計画(案)・活動予算(案)、並びに収支予算(案)承認の件

▽総務・事業委員会 鈴木隆志委員長

〈令和二年度事業報告〉

- ① 令和二年度に入り、新型コロナウイルス感染症拡大により、例会・理事会・運営委員会の予定が中止・延期となった。結果として総会と例会各一回、理事会一回、運営委員会四回を開催した。
- ② 十一月忘年例会は、コロナ禍の下ではあったが、会場をホテルグランドパレスにして、シンガーソングライターの玉城ちはる氏を講師に迎え、懇親会は着席方式の会食として開催した。

- ③ 新規会員の定着・懇親のための事業(ビジネス勉強会&グルメ交流会、新入会員歓迎会)を開催することはできなかった。
- ④ 会員相互の親睦ゴルフ会を秋一回開催した。その他バス旅行、ラグビー観戦、春ゴルフ会は中止となった。

〈令和三年度事業計画・活動予算(案)〉

- ① コロナ禍の現状下でできる限りの例会開催を目指し、引き続き事業を円滑に進める。
- ② 例会出席者向上・親睦のために魅力ある楽しい例会の企画を検討する。
- ③ 新規会員の定着・懇親のための事業(ビ

ジネス勉強会&グルメ交流会、新入会員歓迎会)をコロナ感染対策をしつつ、状況を勘案し開催する。

- ④ 会員相互の親睦会(スポーツ観戦、ゴルフ会)を開催する。

【活動予算】 610万円

▽組織・会員増強委員会 高澤徹委員長

〈令和二年度事業報告〉

- ① 委員会の開催
五回開催(Web委員会二回含む)し、入会審査の実施と、理事会上程および持ち回り理事会(二回)等、速やかな承認手続きの遂行をした。
- ② 会員増強活動の推進
入会者：目標二十名

〈実績〉新規入会者〃十四名、入会承認者〃四名

〈新規入会者内訳〉新社長就任〃六名、

会員〃紹介〃四名

〈入会承認者内訳〉入会申込書未着〃四名

名

・令和二年四月一日時点の会員数：三百七十七名

・令和二年度の実績 退会者：二十六名、入会者：十四名⇒十二名減

・令和三年四月一日時点の会員数：三百六十五名

コロナ禍の影響で情報源の「大学との

懇談会」が2年連続で開催されず、会員のご紹介と新社長情報による活動とに限定され、会員拡大ができなかった。

- ③ 会員の例会出席率の向上策の検討と実施
例会が少ない中で、会員ご紹介による入会希望者の同伴費用は一名に留まった。

〈令和三年度事業計画・活動予算(案)〉

- ① 委員会の開催
年五回を目安に入会審査の実施と速やかな承認(目標二十人)の手続きの遂行を行う。
- ② 会員増強活動の推進
新社長・役員リストによる入会活動と会員ご紹介を推進する。

会員ご紹介による入会希望者の例会同伴費用を無料とする。

- ③ 会員の例会出席率の向上策の検討と実施を図る。

過去三年の新入会員で例会無出席、または初回のみ出席等の方に対して、紹介会員のご協力もいただき、出席促進を行う。

【活動予算】 15万円

▽広報委員会 斎藤柳光委員長

〈令和三年度事業報告〉

- ① 会報はコロナ禍による例会中止などに伴

い、定期の六回から三回（第三百五十号（三百五十二号）刊行となったが、内容的にはかねてから会員の要望も多かった大学関係など、幅広い情報をよりフォローし、ホームページなどを連動させることで充実を図った。

- ② 明治大学広報紙の大学支援広告とは、予定通り令和二年五月号から令和三年三月号まで、隔月で計六回掲載し、会長の挨拶、会の紹介、在学生へのメッセージ、会員代表の入会勧誘などバリエーションも増やし、多方面から好評を得て訴求効果は大だった。

- ③ 年賀名刺広告は、早期の呼びかけで過去最多の個人八十八人、協賛五社のご理解を得た。

〈令和三年度事業計画・活動予算（案）〉

- ① ホームページのリニューアルについては、委員会で見直しなどを行なったが、実施には至らず、本年度に再計上する。特に運営ツールとしての重要度も高まっており、機能の充実にも検討を加えたい。
- ② 入会案内を簡単リーフレット版で製作し、PRや会員増強などに活用する。
- ③ 明治大学広報の支援広告を二〇二一年七、九、十一月、二〇二二年一、三、五月各号の計六回掲載する。

- ④ SMSを実施する。

【活動予算】 316万円

▽大学支援委員会 伊原敏雄委員長

〈令和二年度事業報告〉

- ① 学術賞・学術奨励賞はコロナ禍の影響で、今年度は中止した。

- ② 連合駿台会寄付講座はコロナ禍の影響で、アカデミーコモン講座は春期・秋期ともすべて中止となった。

- ③ a.フューチャースキル（FS）養成講座（商・経営学部）は、リモート会議により会員協賛 企業十社の協力をいただき実施した。

- b.フューチャースキル（FS）講座の延長線である連合駿台会協賛「商学部・経営学部学生対抗プレゼン大会」もインターネットによる募集を行い、教員と連合駿台会・大学支援委員会メンバーにより審査を行い、プレゼン大会の表彰式を実施し、優秀チーム・敢闘チームを決定して、表彰式を実施した。

- ④ 新入留学生向け「日本企業への就職活動支援」活動は、コロナ禍の影響で見通しが立たず中止した。

- ⑤ ホームカミングデーはホームページにバナーを協賛した。シェイクスピアプロジェクト、お茶の水JAZZ祭はオン

デマンドにより実施され、例年通り協賛した。

〈令和三年度事業計画・活動予算（案）〉

- ① 昨年度の学術賞・学術奨励賞は中止になったが、今年度はコロナ禍ではあるが、大学における研究事業の重要性から、インターネットを活用し実施する方向で検討している。ただし、選考委員が専門以外の選考をしWeb会議で調整することは難しく、全分野横断の学術賞は選考せずに、十九人の選考委員が各専門分野である人文科学分野、社会科学分野、自然科学分野から、学術奨励賞を一件ずつ選考し、顕彰することになった。

- ② コロナ禍でのアカデミーコモン講座は、リモート、オンデマンド二つの方法で実施することにしており、連合駿台会寄付講座は、講師・聴講者の新型コロナ罹患リスクを回避すべく、オンデマンドで実施することにした。

- ・春期（六月十六日（二十二日）オンデマンドで配信佐野公哉氏（片倉工業株）取締役会長）

- ・秋期（11月頃開催）講演者選定を含み検討中

- ③ a.フューチャースキル（FS）講座は、商・経営学部からの要請に基づき、四

令和2年度 連合駿台会 収支計算書

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

(単位：円)

収入の部				実績摘要（収入の部）
勘定科目	予算額	実績	予算比	
年会費収入	14,600,000	14,822,000	101.5%	(一般)272名、(地方)62名 (新会員入会金)14名×@30,000円 年会費重複分返金140,000円
例会費収入	2,000,000	830,000	41.5%	11月例会 83名
広告費収入	800,000	1,030,000	128.8%	名刺広告代(@10,000円×88件+@30,000円×5件)
雑収入	10,000	3,121	31.2%	みずほ普通預金・みずほ定期預金・ゆうちょ銀行利息
当期収入計	17,410,000	16,685,121	95.8%	
前期繰越収支差額	37,856,457	37,856,457	100.0%	
合計	55,266,457	54,541,578	98.7%	
支出の部				実績摘要（支出の部）
勘定科目	予算額	決算額	予算比	
I. 総務費				
(1) 家賃共益費	650,000	629,445	96.8%	紫紺館事務所家賃
(2) 人件費	2,200,000	2,146,000	97.5%	事務局関連業務委託費及び会報発行業務費
(3) 事務通信費	1,000,000	1,101,213	110.1%	電話代(279,533円)/例会資料等発送費(752,820円)/振込手数料ほか(68,860円)
(4) 備品消耗品	500,000	991,849	198.4%	文具代・飲物代ほか(334,145円)/発送用封筒・会員ネーム札作成&刻印代(154,000円)/名刺代(58,040円)/PC及び付属品(200,430円)/コピー機(100,000円)/wifi(67,445円)/その他(87,789円)
(5) 印刷費	650,000	1,070,815	164.7%	事務局コピー機リース代(約191,808円)/名簿代(495,000円)/コピー用紙代ほか(約384,007円)
(6) 雑費	400,000	515,656	128.9%	事務局交通費等
総務費計(I)	5,400,000	6,454,978	119.5%	
II. 事業費				
1.各委員会運営費				
(1) 総務・事業委員会費	6,800,000	2,007,904	29.5%	例会会場費・講師謝礼等(1,332,149円)/運営委員会費(338,678円)/特許事務所(162,043円)その他諸経費(175,034円)
(2) 組織・会員増強委員会費	150,000	116,450	77.6%	例会費補助(10,000円)/運営委員会費(106,450円)
(3) 広報委員会費	3,060,000	1,870,050	61.1%	会報発行費(935,000円)/HP運営業務委託費(360,800円)/運営委員会費(74,250円)/大学支援広告費(500,000円)
(4) 大学支援委員会費	1,500,000	595,300	39.7%	シェイクスピアプロジェクト(200,000円)/フューチャースキルプレゼン大会協賛金(290,000円)/ホームカミングデー広告掲載費(30,000円)/運営委員会費(75,300円)
(5) 財務委員会費	100,000	53,100	53.1%	委員会費(53,100円)
各委員会運営費計	11,610,000	4,642,804	40.0%	
2.その他事業費				
(1) 慶弔費	100,000	20,000	20.0%	
その他事業費計	100,000	20,000		
事業費計(II)	11,710,000	4,662,804	39.8%	
III. 予備費	100,000	0		
事業費計(III)				
当期支出合計(I+II+III)	17,210,000	11,117,782	64.6%	
当期収支差額	200,000	5,567,339		
次期繰越収支差額	38,056,457	43,423,796	114.1%	

令和2年度 連合駿台会 貸借対照表

自：令和2年4月1日
至：令和3年3月31日 (単位：円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(流動資産)	62,263,656	(流動資産)	850,160
小口現金	240,032	源泉預り金	10,160
みずほ銀行・普通預金	8,020,878	前受金	340,000
ゆうちょ銀行・普通預金	3,488,876	未払金	500,000
みずほ銀行・定期預金	38,000,000	(正味財産)	61,423,796
大和証券・M. M. F.	12,463,870	1. 有志寄付金	18,000,000
未収入金	50,000	2. 次期繰越収支差額	43,423,796
(固定資産)	10,300		
電話加入権	10,300		
資産合計	62,273,956	負債・正味財産合計	62,273,956

令和2年度 連合駿台会 財産目録

自：令和2年4月1日
至：令和3年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額		
1. 資産の部			
(1) 流動資産			
小口現金	240,032		
みずほ銀行・普通預金	8,020,878		
ゆうちょ銀行・普通預金	3,488,876		
みずほ銀行・定期預金	38,000,000		
大和証券・M. M. F.	12,463,870		
未収入金(名刺広告代)	50,000		
流動資産合計		62,263,656	
(2) 固定資産			
電話加入権	10,300		
固定資産合計		10,300	
資 産 合 計			62,273,956
2. 負債の部			
(1) 負債の部			
源泉税預り金	10,160		
前受金 (4月開催例会費)	340,000		
未払金 (大学支援広告費)	500,000		
流動負債合計		850,160	
負 債 合 計		850,160	850,160
正 味 財 産			61,423,796

令和3年度 連合駿台会 収支予算

自: 令和3年4月 1日

至: 令和4年3月31日

収 入 の 部		摘 要 (収入の部)
勘定科目	予算額	
年 会 費 収 入	15,200,000	* (一般) 280名 × @50,000円 = 14,000,000円、(地方) 60名 × @10,000 = 600,000円 (新入会員入会金) 20名 × @30,000 = 600,000
例 会 費 収 入	3,000,000	* 例会(4回) … 75名 × 4回 × @10,000 = 3,000,000円
広 告 費 収 入	1,000,000	
雑 収 入	10,000	* 預金利息
当 期 収 入 計	19,210,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額	43,423,796	
当 期 収 入 合 計	62,633,796	
支 出 の 部		摘 要 (支出の部)
勘定科目	金 額	
I. 総務費		
(1) 家 賃 共 益 費	650,000	* 紫紺館事務所家賃
(2) 人 件 費	2,200,000	* 事務局関連業務委託費及び会報発行業務費等
(3) 事 務・通 信 費	1,000,000	* 電話代/例会資料等発送費/振込手数料ほか
(4) 備 品 消 耗 品	800,000	* 発送用封筒代/文具代/会員ネーム札作成代ほか
(5) 印 刷 費	1,000,000	* 事務局コピー機リース代/コピー用紙代/名簿製作費ほか
(6) 雑 費	400,000	* 事務局交通費/資料代ほか
総務費計(I)	6,050,000	
II. 事業費		
1. 各委員会運営費		
(1) 総 務・事 業 委 員 会 費	6,100,000	例会費・講師等謝礼(4,700,000円)/正・副会長費、運営委員会費(600,000円)/各種事業費(700,000円)/諸経費(100,000円)
(2) 組 織・会 員 増 強 委 員 会 費	150,000	委員会費(100,000円)/会員増強活動費(50,000円)
(3) 広 報 委 員 会 費	3,160,000	会報発行費(1,500,000円)/HPの管理・維持費(360,000円)/HPリニューアル関連経費(600,000円)/入会案内リーフレット製作費(100,000円)/大学支援広告費(500,000円)/委員会費(100,000円)
(4) 大 学 支 援 委 員 会 費	3,400,000	学術奨励賞および副賞(1,300,000円)/寄付講座および諸経費(750,000円)/「学生対抗プレゼン大会」(仮称)副賞ほか費用(500,000円)/「留学生就職支援」関連費(300,000円)/大学行事協賛金(500,000円)/委員会費(50,000円)
(5) 財 務 委 員 会 費	80,000	委員会費(80,000円)
各 委 員 会 運 営 費 計	12,890,000	
2. その他事業費		
(1) 慶 弔 費	100,000	
そ の 他 事 業 費 計	100,000	
事業費計(II)	12,990,000	
III. 予備費		
当 期 支 出 合 計 (I + II + III)	19,140,000	
当 期 収 支 差 額	70,000	
IV. 明治大学創立140周年記念寄付金	10,000,000	令和2年度収支差額5,567,339円を含む
次 期 繰 越 収 支 差 額	33,493,796	

月より十講座をリモート会議にてスタートしている。FS講座の反省会は、リモート会議とリアル会議の併合にて七月に実施した。

b.プレゼン大会は、昨年同様インターネットによる運営を行う。大学の取組に協賛して優秀賞・敢闘賞の選考に参加するとともに、表彰式にて賞状・副賞を授与する。

④ 新入留学生向け「日本企業への就職支援」活動は、就職キャリアセンターとオンラインにて開催を検討する。

⑤ ホームカミングデー、シェイクスピアプロジェクト、お茶の水JAZZ祭の協賛については、リモート併用による開催が予定されていることから、過去の実績通り支援する。

【活動予算】340万円

▽財務委員会 吉田光一郎委員長

〈令和二年度事業報告〉

① 会費未納者数は、三百七十七名中四十三名、会費未納率は一一・四%となった。コロナ禍により退会者が増え、会費納入者が大幅に減った。

② 年会費収入については、当初予算の1460万円（1550万円）に対して1482万2000円（1590万5

500円）で、約22万円（約40万円）の超過、対予算比は一〇一・五%（一〇二・六%）となった。

③ 総務費については、当初予算の540万円（540万円）に対して645万4978円（664万7881円）で約105万円（約124万円）の超過、予算比一一九・五%（一二三・一%）となった。

主な超過要因は、第一号議案の収支報告で述べた通りだが、前年実績も併せ見ると、備品消耗品費の予算について、内容を精査の上、実態に合わせた増額が必要と判断した。

※②と③の（ ）内の数字は前年度末のもの。

④ 当会資産の運用の検討として、定期預金、大和MMFの約5000万円の運用について検討した。

その結果、当会の資金運用は安全を優先すべきことであり、またコロナ禍において経済が依然不透明であることなどを考慮して、資金のポジションを現時点では従来のままとすることとした。

〈令和三年三月三十一日現在〉

☆会費納入見込み会員数：三百六十三名（名誉会員・特別会員各一名を含みます）

一般：二百二十九名 地方：六十四名

☆会費納入者数：三百三十四名

一般：二百七十二名 地方：六十二名

〈令和三年度事業計画・活動予算（案）〉

① 年会費収入、例会費収入、広告費収入等の収入額に対応した支出の予算管理の徹底化のため、適切な情報の収集・会計処理等を行い、財産基盤が損なわれないよう、収支管理に努める。

② 当会資産の活用方法について協議し、使途などを提案する。

【活動予算】8万円

【令和三年度収支予算（案）】

① 収入の部では、コロナ禍による会員の退会者増加なども考えられるが、目標額として、年会費1460万円、新入会員入会金分は20名分60万円として、1520万円とした。例会費収入はすでに四月は行ったが、今回の六月総会は懇親会なし会費もなしで行った。今後のことは、緊急事態宣言が解除されるか否かによって変わってくるが、とりあえず「あと三回くらいは例会を行える」という前提のもと、四月と同じ七十五名くらいの出席者、今年は大学を会場として使えないため会費は5千円ではなく1万円として、計300万円とした。

広告費収入は昨年度実績に合わせて1

② 00万円に増額し、当期収入計は1921万円、前期繰越収支差額をプラスした結果、当期収入合計は6263万3796円となり、昨年度に比べて557万円ほどのプラスになっている。

支出の部では、総務費では備品消耗品費を実態に合わせて30万円増やして80万円に、また名簿作成費を印刷費に入れたことで35万円増やして100万円にしたため、昨年より65万円増えて605万円となった。事業費は先ほど各委員長から計上された額の合計1289万円に、従来通りの慶弔費と予備費各10万円を加えて当期支出の合計は1914万円とした。

③ また、今年度は明治大学創立一四〇周年にあたるため、これに対する寄付金に關しては、後ほど第三号議案で、会長からご説明いただくことにする。

④ 昨年度同様、今年度の収入・支出ともに、コロナ禍の状況によって大きく変わってくるので、あくまでも現段階での予測に基づいて、目標的に作成した。

第一号議案・第二号議案については、一括で満場一致で可決・承認された。

第三号議案

明治大学創立一四〇周年記念寄付金の件
田村会長から以下のような説明があった。

母校明治大学は、今年で創立一四〇周年を迎え、式典は十一月一日にアカデミーコモンで開催される。十年前の一三〇周年の時は、連合駿台会として1000万円を寄付しており、今回は、先ほどの財務委員長の説明の通り、令和二年度収支計算書の当期収支差額の556万7339円を皆様の浄財として活躍させていただき、令和三年度の収支予算案・前期繰越収支差額からその差額の443万2661円をプラスして、創立一三〇周年時と同額の1000万円とし、明治大学に寄付したいと考えている。この件は、総会に先立つ理事会では承認いただいている。

第三号議案については、全員異議なく承認された。

その他
特になし。

以上

上記議事録は、適切に記録されているものと認める。

議事録署名人 佐野 公哉
議事録署名人 池田 一義

◆新入会員ご紹介

前会までの理事会で承認され、入会された方をご紹介します。
(敬称略・到着順)



須田 直治
昭和五十六年・商学部卒
著作権情報集中処理機構
代表理事(理事長)
東京都昭島市在住



小林 幹央
昭和五十二年・法学部卒
(株)レオン自動機
代表取締役社長
栃木県宇都宮市在住



真家 裕介
平成元年・文学部卒
アイム社会保険労務士法人
代表社員
千葉県千葉市在住



田邊 弥
平成四年・農学部卒
(株)ニチレイフレッシュ
代表取締役社長
東京都葛飾区在住



二家 英彰
平成八年・政経学部卒
岡藤日産証券・ルネッサンス(株)・日産証券
代表取締役社長
東京都渋谷区在住



おおた よしお
太田 良治
昭和五十三年・工学部卒
(株)ユアテック
代表取締役社長・社長執行役員
宮城県仙台市在住

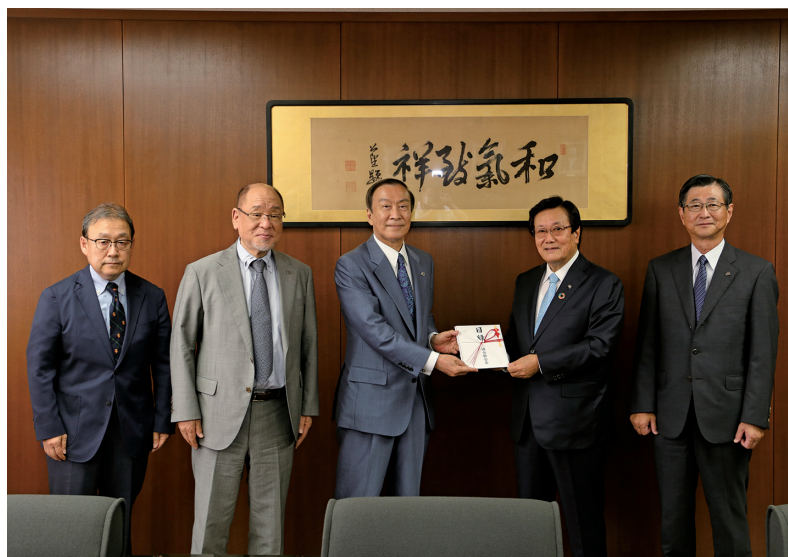
◆明大ニュース

●創立二四〇周年記念事業募金に

連合駿台会から一〇〇〇万円

連合駿台会から創立一四〇周年記念事業募金に、創立一三〇周年の募金と同様、一〇〇万円が寄付された。

駿河台キャンパスで七月十九日に行われた寄付贈呈式では、連合駿台会の田村駿会長から、柳谷孝理理事長へ寄付目録が贈呈された。連合駿台会からは、当山明彦専務理事が同席した冒頭、田村会長は「連合駿台会は母校明治大学の発展に寄与していくことを目的のひとつに挙げています。創立一四〇周年という節目でお役に立てれば幸いです」と挨拶した。柳谷理事長は、今回の寄付と連合駿台会のこれまでの教育研究に対する多大な支援に対し感謝の言葉を述べた後、創立一五〇周年に向けて新たな長期ビジョンを策定しており、今後も引き続き支援を賜れるようお願いされた。



●新型コロナウイルス感染症

ワクチン大学拠点接種・一回目を終える

学生、教職員など二万九百四十人

九月二十九日から二回目接種

明治大学を会場とする新型コロナウイルス感染症ワクチンの大学拠点接種が始まり、九月一日から十六日にかけて希望者への一回目接種が完了した。接種人数は、学部生七千六百四十八人、大学院・専門職大学院生五百十一人、教職員二百二十二人に加え、付属校の

生徒、学生・教職員の家族、大学常駐業者など合わせて一万九百四十人となった。

大学拠点接種に当たっては、文部科学省から接種申請の案内を受け、六月二十三日の理事会において、本学での実施および実施に関わる予算措置について承認。七月十九日の週から開始を希望するという申請を行った。その後、文部科学省から接種開始スケジュール変更の通達があり、最終的に「八月三十日の週から接種開始ができるよう、二十三日の週にワクチンを配送できる見込み」という趣旨の連絡を受けて、九月一日から接種開始となった。希望者からの接種の申し込みは専用予約サイトで行われた。

接種開始に向けて、大学側では接種会場の確保や医師・薬剤師および看護師や会場運営スタッフの手配などの準備を進め、七月三十日にはこの業務に関わる約七十人の専任職員を対象とした説明会を実施。九月一日からの一回目接種期間中は一日当たり約二十人の専任職員が会場運営に当たった。一回目接種を終えた時点で大きなトラブルなどは発生していない。

今後、一回目接種を本学会場で終えた人を対象に、二回目の接種が九月二十九日から十月十四日にかけて実施される。大学拠点接種を担当した経営企画部企画課の職員は、「学内活動の正常化に向けて、多くの学生にワク

チン接種を行う機会を大学として設けられてよかった。二回目の接種に向けて、一回目接種を踏まえ会場内の導線などを見直し、スムーズな実施を心掛けた」とコメントした。

●甲斐靖文氏と山田朝彦氏に

「明治大学特別功労賞」を贈呈

明治大学は五月二十八日、明治大学マンドリン倶楽部音楽監督・常任指揮者の甲斐靖文氏（一九六二年法学部卒業）と、彫刻家の山田朝彦氏（一九六六年商学部卒業）の二氏に「明治大学特別功労賞」を贈呈した。

甲斐氏は、在学中にマンドリン倶楽部に所属し、卒業後は作曲家・編曲家として活躍。三十二歳の時に本学マンドリン倶楽部の創立時のメンバーの一人でもある古賀政男氏から後継者に指名され、同倶楽部の音楽監督・常任指揮者に就任し、以来五十年にわたって指導を続けてきた。古賀メモリーの継承と新たな音楽の創造を両輪に、長年にわたる指導を通じて本学の名声を高めることに貢献したことが認められ、特別功労賞が贈呈された。山田氏は、本学卒業後、彫刻家として五十数年にわたり活躍。二〇一五年には、日展出品作品「朝の響き」によって日本芸術院賞を受賞するなど、数々の受賞歴がある。二〇二〇年には、これまでの顕著な功績が認められ、日本芸術院の会員に就任し、日本の美術界に

明治大学の名を高めたことが認められ、特別功労賞が贈呈された。

贈呈式は、駿河台キャンパス・アカデミーホールで挙行され、大六野耕作学長から甲斐氏、柳谷孝理理事長から山田氏に対して、賞状と記念メダルが贈呈された。

受賞スピーチでは、甲斐氏は、「音楽は人々に感動、勇気、希望、癒しを与える素晴らしいもの。『好きこそ物の上手なれ』の精神で、自己流ながらも一生懸命取り組んできた」と振り返り、「明治大学はスポーツが強く、近年は学問でも高い評価を受けている。これからは、音楽や芸術方面でもグレードアップしていくてくれたらうれしい」と期待を込めた。続いて登壇した山田氏は、「誰かに指示されることなく、自分の思ったことを表現し、制作してこれたのは大変幸運なこと。明治という自由な環境で過ごしてきたおかげ」と目を細め、「私にできることは何か、私だからできることは何かを求めて『前へ』進んでいきたい」と受賞の喜びを語った。

★明治大学特別功労賞

明治大学の学生、教職員、校友（OB・OG）らの中で、学術・文化・スポーツなどの分野において顕著な功績を挙げ、明治大学の教育・研究の振興・発展に寄与したと認めら

れる個人や団体に対し贈られる。これまでに、阿久悠氏や星野仙一氏、北野武氏らに贈呈。甲斐氏、山田氏は三十二、三十三人目の受賞者となった。

●OB社長

- ▽クニミネ工業(株) 〓 勢藤大輔氏（二〇〇三年商学部卒・四十歳）
- ▽岡藤日産証券ホールディングス(株) 〓 二家英彰氏（一九九六年政経学部卒・四十七歳）
- ▽(株) 沖倉商事 〓 大城浩幸氏（一九九二年商学部卒・五十五歳）
- ▽東武トップツアーズ(株) 〓 百木田康二氏（一九八七年商学部卒・五十六歳）
- ▽ワタミ(株) 〓 渡邊美樹氏（一九八二年商学部卒・六十一歳）
- ▽(株) 沖縄海邦銀行 〓 新庄一史氏（一九八八年法学部卒・五十七歳）

●二〇二二年度秋季卒業式

二百九十九人が母校を巣立つ

二〇二二年度秋季卒業式が九月十九日、駿河台キャンパス・アカデミーコモンで挙行された。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から卒業生の出席は代表学生のみとし、明治大学のYouTubeアカウントからリアルタイムで配信が行われた。

式典の冒頭、卒業生・修了生を代表して商

学部 of 田口貴大さんと、専門職大学院ガバナンス研究科の古川拓也さんが登壇。それぞれ大六野耕作学長から学位記を授与された。

大六野学長は告辞に立ち、「我が国の未来のために、留まることなく激動の時代に立ち向かった三名の本学創立者のように、先取の気概を持って踏み出されることを祈念します」と卒業生へ語り掛け、「力強く前へ」と激励した。

続いて、柳谷孝理事長による祝辞では、「主体性をもって自ら『考える材料』を発見し、そして『自分で考え抜く力』を磨き続けてください」と卒業生の門出を祝した。

卒業生答辞は田口さんが務めた。田口さんは、所属した体同連アメリカンフットボール部において仲間に支えられて大怪我から復帰した経験や、ドイツへの交換留学経験など学生生活を振り返り、「どんな状況でも諦めない精神や、新しいことに挑戦する主体的な姿勢を持って、社会全体の未来を切り拓くために尽力したい」と決意を述べた。

最後に明治大学校歌を静聴し、式典は閉式。二百九十九人（学部二百十九人、大学院・専門職大学院八十人）が母校明治大学を巣立った。

●二〇二二年度秋季八十六人が入学

二〇二二年度秋季の入学者八十六人（学部

十一人、大学院・専門職大学院七十五人）が明治大学に入学した。秋季入学者は海外からの学生や社会人学生が中心で、国際日本学部の English Track や専門職大学院に入学している。

秋季入学式は九月十九日に举行されたが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、新入生は明治大学 YouTube アカウントのリアルタイム配信で参加する形となった。

告辞に立った大六野耕作学長は、明治大学の建学の精神『権利自由、独立自治』を、「社会を構成する一人ひとりが自らの権利と自由を守るために、自らを律するという精神」だと紹介するなど、日本語と英語で学生生活への心構えを語り掛けた。

続いて、柳谷孝理事長は祝辞で「それぞれにふさわしい『個』の確立を目指して、多様な視点を養っていくことを、大いに期待しています」と述べ、新入生にエールを送った。

最後に、校歌紹介として、明治大学校歌の歌詞やその成り立ちなどを盛り込んだ動画が放映され、式典は終了となった。

●「兒玉圭司」願晴る『研究振興賞』

授賞式を挙行

六月二十九日、駿河台キャンパス・矢代操ホールにて「兒玉圭司」願晴る『研究振興

賞』授賞式を挙行了した。これは、本学校友の兒玉圭司氏（一九五七年経営卒・体育会卓球部総監督）による寄付金を原資に研究で顕著な功績をあげた本学の教員を表彰する賞で、過去五年間の国際研究論文の論文数や被引用数等の評価を基に表彰者を決定している。二〇二〇年は新型コロナウイルスの影響で授賞式の開催を見合わせたため、今回は二〇一九年度の受賞者である農学部部長嶋比呂志教授と二〇二〇年度受賞者の同学部矢野健太郎教授の二人を表彰した。

表彰状授与および目録贈呈の後、大六野学長は「本学は留学が盛んになってきていて、学生交流の面で国際化が進んでいる。次の段階は研究レベルでの世界との交流」とした上で、「お二人はその最先端にいる。これからも研究に精錬され、さらなる進歩を遂げていただきたい」と両教授を激励した。

その後、兒玉氏は自らの造語「願晴る」願いを込めて晴れやかに努力する」という言葉に込めた思いに触れながら「情熱は物事を成し遂げるのに最も大事な要素であり最も大切な能力。大きなゴールに向かって、情熱をもって願いをこめて晴れやかに努力して活躍されることを心から祈念します」と述べた。

表彰を受け、長嶋教授は二〇〇九年に自身が設立した研究クラスターや二〇一一年の特別推進研究インスティテュートなど、これま

での本学の研究組織の整備への感謝とともに「大学の研究活動は教員だけでなく、職員も含めたもの。大学がそこにも目を向けていただけたらより良い研究環境になると思う」と今後の研究環境への支援についても触れた。

続く矢野教授は「バイオフィオマティクスを体系的に研究できる機関は依然として少ない。そのシステムが整っている本学で研究できるのは非常にありがたく感じている。世界トップレベルの研究を本学が行い、日本を強く魅力ある国にして留学生が来たいと思えるような大学にしたい」とさらなる研究活動への意気込みを語った。

●明治大学×SDGs特設Webサイト開設

SDGs達成に向けた明治大学独自の

取り組みを発信

明治大学は持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた独自の取り組みを広く伝えるため、新たに特設Webサイトを開設した。この特設サイトでは、SDGsに貢献する本学独自の教育プログラム、研究テーマやゼミナール・学生個人の社会貢献活動を中心に、大規模総合大学ならではのあらゆる視点からオリジナルの情報を発信。公開時点で、学内から集約されたSDGsに関連する取り組みの事例を六十七件紹介している。

取り上げられている事例はそれぞれSDG

sの十七の達成目標（ゴール）に分類され、取り組みを行う担当教員の情報にも連動。さらに、内容は平易な言葉で表現し、写真を豊富に用いているため、受験を控える中学生・高校生にとってもSDGsへの理解を深めながら、明治大学のさまざまな取り組みを知ることができるとなっている。

特設サイトには大六野耕作学長によるメッセージも掲載。「明治大学では『人間が人間の創出を目指して、SDGsに資するさまざまな教育研究活動を行っています。このたび、それらをより分かりやすく可視化し、有機的に結び付けて紹介するこのページを開設いたしました」とサイト開設の趣旨を紹介している。

今後も学生や教職員の目標達成に寄与する教育・研究・社会貢献などの取り組みやプログラムについて、随時追加・更新が行われる予定。

●国家公務員総合職試験

明大から合格二十五人

人事院は六月二十一日、中央省庁の幹部候補を目指す国家公務員採用総合職試験の二〇二一年度最終合格者を発表した。明治大学からは二十五人（前年度二十一人）が合格した。

明大の合格者の試験区分別内訳は、院卒者

試験で「行政」一人、「農業科学・水産」一人の計二人。大卒程度試験で「政治・国際」八人、「法律」六人、「経済」五人、「工学」一人、「農業農村工学」三人の計二十三人だった。

二〇二一年度試験の申込者数は一万四千三百十人（前年度比二千四百二十人減）、合格者数は千八百三十四人（同百十七人増）で、倍率は七・八倍（同一・九割減）となった。

出身学校別の合格者数内訳では、国公立大学千三百五十三人、私立大学四百六十八人、その他（外国の大学等）十三人。合格者の出身学校数は全体で百三十七校だった。

●司法試験最終合格者

法科大学院から二十二人が合格

法務省は九月七日、法科大学院修了者などを対象とした二〇二一年司法試験の最終合格者を発表した。明治大学法科大学院からは百二人が受験し、二十二人が合格した（前年比八人減）。合格率は、二二・六％。

全体の合格者数は、千四百二十一人で昨年より二十九人減。法科大学院を修了していないくても受験資格を得られる「予備試験」を経た合格者は三百七十四人、合格率は九三・五％で、いずれの法科大学院よりも高水準となった。

今年度の司法試験では、二〇二〇年度専門

職大学院法務研究科（法科大学院）修了生の奥山茂さんが合格した。奥山さんは全盲というハンディキャップを乗り越え、見事合格となった。合格を受け奥山さんは、「私の合格は、諸先生方の熱心なご指導と、私が勉強できるように基本書などを加工してくださった大学関係者の皆さまのご尽力のたまものです」とコメント。喜びとともに恩師や関係者への謝辞を述べた。

●南極地域観測隊の越冬隊員に 理工研・遠藤哲歩さん

このほど、理工学研究科博士前期課程二年の遠藤哲歩さんが第六十三次南極地域観測隊の越冬隊員に選出されたことがわかった。

南極地域観測事業は、オゾンホールの破壊など地球環境変動の長期連続観測などを目的としていて、遠藤さんが所属する鈴木秀彦研究室（地球・惑星大気物理研究室）において地球大気の研究を行っていることから選出された。

遠藤さんは三十七人の越冬隊の中で、一般研究観測員として超高層大気の観測を行う。この研究は地球大気システムを理解するうえで不可欠な極域大気のダイナミクス解明のために行われ、今回参加する活動では、宇宙天気と宇宙線の関係、地球全球で起こる雷活動、オーロラ変動メカニズムといった多岐にわた

る研究テーマに関連する観測に従事する。

遠藤さんら越冬隊員は南極観測船「しらせ」で十一月十日に日本を出発して南極に向かい、十二月より南極の昭和基地での活動に入る。およそ一年二カ月の基地での活動の後、二〇二三年三月末に帰国する予定。

●東京二〇二〇オリンピック 卓球日本代表の水谷選手、丹羽選手が 明大を訪れメダル獲得を報告

東京二〇二〇オリンピックに出場した、卓球・男子日本代表の水谷隼選手（二〇一三年政経学部卒）、丹羽孝希選手（二〇一七年政経学部卒）と、明治大学体育会卓球部名誉総監督の児玉圭司氏が八月二十五日、駿河台キャンパスを訪れ、大六野耕作学長、柳谷孝理理事長が出迎える中、メダル獲得と五輪での戦いを報告した。

水谷選手は今大会の新種目・混合ダブルスで日本の卓球競技史上初となる金メダルを獲得。さらに、水谷・丹羽両選手が出場した男子団体では見事銅メダルを獲得し、日本中に感動を与えた。両選手は二〇一六年リオデジャネイロオリンピックでメダルを獲得した際にも大学を訪れており、再び母校で笑顔の報告となった。

水谷選手は、混合ダブルスでの試合運びについて、「リードされ、点差が離れている状

況でもチャンスを見逃さず、まずは目の前の一本を全力で取りにいった。その結果が勝利につながった」と激戦の感想を報告。さらに、「卓球は意識して行うプレーと無意識下で行うプレーがある。（ボールや相手選手の動きを）脳で認識し、伝達されてから動き出すのでは間に合わないこともあるので、その無意識で行う部分も鍛えていかなければならない。その境地に至るには、反復練習を続けて身に付けるしかない」と、日々の練習の積み重ねこそが重要であることを自身で解説した。

丹羽選手は、「（先輩に当たる）水谷選手は、自分と同じく青森山田高校から明治大学に進学し、結果を残してこられた。水谷選手への憧れもあり、明治大学には卓球界で活躍する偉大な先輩方がたくさんいたので、それに続きたいという思いで競技に打ち込んできた」と、明治大学での四年間を振り返った。さらに、「（コロナ禍で）東京オリンピックの一年延期が決まり、国際大会が中止となるなど厳しい環境下だったが、家族の支えがモチベーション向上につながった」と、家族や関係者らへの感謝の言葉を述べた。

大六野学長、柳谷理事長は、歴史的な勝利で日本中を熱狂させた二選手の活躍について、「難しい時期に開催された大会で苦勞も多かっただろうが、心が踊らされるような活躍だった」（大六野学長）、「リオに続き、素晴

らしい報告をいただき、これほどうれしいことはない」(柳谷理事長)と激励し、健闘をたたえた。

●射撃代表の平田選手が表敬訪問

東京二〇二〇オリンピックに日本代表として出場した体育会射撃部の平田しおり選手(政経学部4年)が、九月二十四日、駿河台キャンパスを訪れ、大六野耕作学長と柳谷孝理事長に五輪での戦いを報告した。

平田選手は射撃競技三種目に出場。女子10^リエアライフル個人で三十四位、混合10^リエアライフル団体で二十六位、女子50^リmライフル3姿勢個人で十一位と、世界中のトップアスリートを相手に大健闘した。大会直前の六月二十三日には、学長・理事長にZoomで五輪出場を報告しており、今回は射撃部の水野勝之部長(商学部教授)、佐橋朋木監督と共に戦績を報告した。

平田選手は、大会出場の感想を、「三種目に出場し、最初は緊張もあったが、集中して臨むことができた」と報告。さらに、「感染対策のため他の選手との交流はほとんどできなかったが、選手村内の食堂に向かう時間に顔を合わせたり、海外選手からピンバッジの交換を求められたりするなど、わずかだが交流できたことがうれしかった」と笑顔を見せた。

大六野学長と柳谷理事長はそれぞれ、「現役学生が五輪を舞台に活躍することは非常に誇らしいこと。難しい状況の中でよく戦ってくれた」(大六野学長)、「次のパリ五輪を目指してこれからも頑張ってください」(柳谷理事長)と平田選手の活躍にねぎらいの言葉をかけた。

最後に花束の贈呈と記念撮影が行われ散会となった。平田選手は「卒業後も競技を続けていきます」と述べ、今後の活躍を誓った。

●体育会ラグビー部 新監督に神鳥裕之氏が就任

体育会ラグビー部の新監督に、ラグビートップリーグのリコブラックラムズ前監督の神鳥裕之氏(一九九八年経営学部卒・株リコー)が六月一日付で就任した。

会見の席で田中前監督は、「日本一の奪還、そして、常に優勝争いができるチームにした」という目標を立てて取り組んできた。四年間は、一生の財産になるような濃密な時間だった」と笑顔を見せた。

神鳥新監督は、「伝統ある明治大学ラグビー部の監督という重責を感じるが、自分なりにチャレンジしたい」とあいさつ。「明治大学らしいワクワクするようなラグビーを見せ、日本一が取れるようなチームにしていきたい」と意気込みを語った。

◆組織・会員増強委員会よりお願い

コロナ禍が長く続きまして、新入会員勧誘の機会が減っております。会員の皆様におかれましては、推薦したいと思う方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

◆六月総会出席者

青柳勝栄、浅井宏、安達明正、有賀隆治、安藤立美、池田一義、乾和行、伊原敏雄、宇川一夫、内川雄一郎、大野正美、大原幸男、大前実之、奥村勝広、鬼塚和也、加賀美猛、金井健、狩野省市、上形秀一郎、栢森靖、川瀬透、河原章、河村博、神林光、北野大、黒崎昭男、小井戸亮文、五味道雄、小山修、根田哲雄、根田吉雄、齋藤柳光、三枝富博、坂本道昭、佐藤和正、佐藤健、佐藤仁、佐野公哉、柴田清之、杉浦伸二、鈴木隆志、関根均、高澤徹、高橋一成、田口幸隆、武内裕、田代恭一(代理)、田村駿、辻井知明、当山明彦、徳丸平太郎、富水流孝二、中里猛志、二井康夫、西澤豊、萩原裕次、長谷川進一、畠中君代、幡谷公朗、塙英幸、馬場範夫、林威樹、深代尚夫、福田和彦、古本英樹、眞壁八郎、松崎優子、三浦栄治、向井眞一、村山友彦、室井恵明、山口大介、山田晃久、山田憲典、山田朝彦、山田幸夫、吉田光一郎



経済、法曹、文化など各界でご活躍の明治大学OB諸氏よ！ 来たれ！「連合駿台会へ！」

「連合駿台会」は、1953年に設立された「茗水クラブ」と、1964年に設立された「明友クラブ」が2002年に統合して設立された68年の歴史と伝統あるOB組織です。

連合駿台会ニュース

- 当会副会長の山田朝彦氏（彫刻家、日展理事＝1966年商学部卒）の日本芸術院会員選任を祝して、このほど「明治大学特別功労賞」が贈られました。当会では初の快挙であり、心よりお祝い申し上げます。なお、当会の徽章は山田氏の制作によるものです。
- リパティアカデミー・連合駿台会寄付講座として、当会副会長の佐野公哉氏（片倉工業(株)会長＝1977年農学部卒）を講師とす

る「富岡製糸場最後の民間オーナー 近代日本の製糸業の歴史を紐解く」が6月16日から22日まで、オンデマンドで開講されました。

- 過日の例会では、大河ドラマ『麒麟がくる』などを手掛けた脚本家の池端俊策氏（1970年政治経済学部卒）をお招きし、「大河ドラマでどのように歴史を描くか」をテーマにご講演いただきました。



連合駿台会会長
田村 駿
(明治大学評議員会議長)

各界で活躍されておられる明治大学校友のご入会を歓迎いたします

資料のご請求はこちらまで 連合駿台会事務局

TEL : 03-3296-4747 FAX : 03-3296-4748 HP : <http://www.rengosundaikai.jp>
Email : rengosundaikai@silk.ocn.ne.jp

★明治大学広報(7月1日号)に掲載された大学への支援広告。今後も2ヵ月に1回掲載していく予定です。



経済、法曹、文化など各界でご活躍の明治大学OB諸氏よ！ 来たれ！「連合駿台会へ！」

「連合駿台会」は、1953年に設立された「茗水クラブ」と、1964年に設立された「明友クラブ」が2002年に統合して設立された68年の歴史と伝統あるOB組織です。

明治大学創立140周年にあたり、寄付金1000万円を贈呈

去る6月24日に開催されました第67回連合駿台会通常総会において「明治大学創立140周年記念」として1000万円を寄付することが決定されました。そして7月19日、田村会長より明治大学柳谷理事長へ目録が贈呈されました。これは母校の発展に寄与するという会の目的の通り議決されたものです。これを機に連合駿台会は、創設以来の基本精神である「オール明治の団結と絆を深めるためのリーダー的な役割を果たす！」を改めて心に刻み、明治大学がトップユニバーシティであり続けるために、さらなる貢献と活動をしてまいりたいと思います。

多くの皆さまの連合駿台会へのご入会をお待ちしています。共に「前へ！」

各界で活躍されておられる明治大学校友のご入会を歓迎いたします



連合駿台会会長
田村 駿
(明治大学評議員会議長)

資料のご請求はこちらまで 連合駿台会事務局

TEL : 03-3296-4747 FAX : 03-3296-4748 HP : <http://www.rengosundaikai.jp>
Email : rengosundaikai@silk.ocn.ne.jp

★明治大学広報(9月1日号)に掲載された大学への支援広告。今後も2ヵ月に1回掲載していく予定です。

【編集後記】

昨年からの猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種が進み、加えて日本でもコロナ治療薬が年内承認という報道もあり、コロナ過は収束を迎えつつある。しかし、変異株の出現もあり、まだ油断は出来ないが、来年には通常の経済や日常生活を送りたい。

話は変わるが、今、政局が動いている。特定の政党や宗教について語るつもりはないが、9月の自民党総裁選を皮切りに、10月31日投票の衆議院選と、緊急事態宣言解除後の日本の命運を左右する選挙が続く。

国政と言えば、当校は2人（敬称略）三木武夫、村山富市の宰相を輩出している。参考までに歴代内閣総理大臣出身大学ランキングを調べてみると、当然ながら1位は東京大学で19人、2位は早稲田大学7人、3位は京都大学5人、4位は慶應義塾大学4人、当校はそれに続く第5位（タイ）だそう。（出典は「有名人の出身大学ランキングサイト」最終更新日…2020年9月17日）

総理大臣だけではない。閣僚経験者も27人に及んでいる。（出典は同サイト 最終更新日…2020年10月18日）そして、現役国会議員は15人、内訳は衆議院議員10人、参議院議員5人である。（出典は同サイト 最終更新日…2019年2月24日）

今回の選挙には、10名以上の当校出身の立候補者が出馬するだろう。当校出身者に関わらず、代議士として「経世済民」（世の中を治め、民衆を苦しみから救済する）を実現してくれるリーダーを日本国民は切望している。

（宮本浩二）